

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 610 号	氏名	中垣 岳大
学位審査委員	主査 由井 克之 副査 下川 功 副査 濱野真二郎		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 免疫抑制剤 FK506 がオートファジーを活性化することによりプリオン病発症を抑制するという仮説を検証した研究であり、十分に評価できる。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 培養細胞を用いたプリオン感染実験において、FK506 によるオートファジー活性化と異常型プリオン蛋白減少を確認した上で、マウスを用いた感染実験で延命効果を含めて検証しており、十分に妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、FK506 によるオートファジーの活性化、異常型プリオン蛋白の蓄積抑制、ミクログリア活性化抑制及びプリオン病マウスの延命効果を証明した。新たなプリオン病治療薬として研究の展開が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はプリオン病研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			